

滑稽新風社

〒444-0103 愛知県額田郡幸田町
大字大草字祿直屋敷(新井) 63-1
嬉しい早づくめの師志 終州良州の師志
第343号 創刊1990年7月28日
E-mail: kokkei1949@yahoo.co.jp

滑稽新聞

今が幸せ。なんも
いらない。なんも
いうことはない。

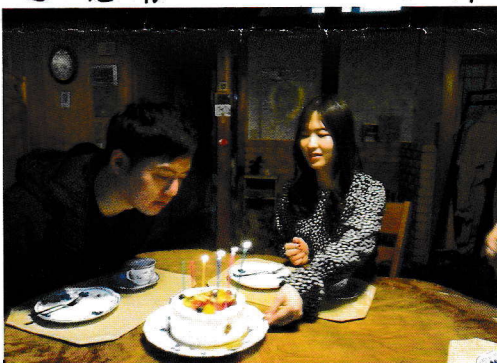
特攻隊として出
陣する直前に終戦
と迫った18歳の通
才さん。この土地
を愛しながら、混然
一体となつて人生を歩
んで行くよりははない。

新妻の美鈴さんが言っていた。この家(の回り)はまるごと絵はがきと見てるみたいですね。

新婚さんいらっしゃい

一年ぶりに真司が里帰り

た。ホカク湯気うった様
な新妻を連れて。
新婚夫婦は見るからに
初々しく、傍に居るだけで
こりらの口元も緩む。
折向の帰省者らの何泊か
してほしかったが、何とホテル
も温泉旅館も満杯。変
なホテルがやと取れた。妻がこの時のために綿衣に、ウ
ルカムフロンと立て二人を歓迎した。仏壇に結婚の報
告、お墓参りと町の銀守球へのお礼参り。夕食は
年に一度の蟹ずき。デザート代りに4日早い誕生日祝い。
翌日は子めん用意した石臼で餅つきをした。真司は
「昔取らなかつた杵柄」だった。何とが田舎出身男
子の面目を保った。新妻も人生初体験だったが、尻もち
とつかず無事餅つきデビューをした。その後鏡餅を
作り、特製「餅ピザ」を食へ、お餅
づくりに初める餅つき体験



1月3日が誕生日の前倒しでお祝い



短い滞在だが、家族を少し感じさせて貰った。



新妻の前では下ろしは見えぬ

世界に一つのポロテイ笑刻の叙熱祝賀会

「なまの命」の稲垣春夫と細井工夫の叙熱祝賀会が漸く開かれた。20年春受賞の稲垣君の祝賀会を企画するも、コロナで延期、また延期。一年経つたら、今夜は細井君の受賞が続いた。盆と正月が一遍に到来した。結果、コロナ沈黙化の隙と縫って笑花びら。高校同学生年が二人もこの案に浴するとい誇らしい嬉しい限り。
稲垣君への記念品は杉浦さんが選定。旧交のある、日本唯一のポロテイ笑刻家岩崎祐司氏に制作を依頼した。以前、稲垣君が幸田町で「健康寿命」の講演をしてくれた時の様子を彫刻で創った。これが稲垣君にも、出席者達にも大ウケ。良かった。



祝辞を述べる前副理事長の大河原君

細井君への記念品は、同学生年が画家の大山千恵子さんの「宇宙」を細い作品が贈られた。細井君の肖像画と、提案した。本人が「恥かしいから」と断ったので、こんな哀詔もあつた。稲垣君の奥様は、白眉に参内できるとあつて着物を誂え、一流ホテルに宿泊予約も。一方、細井君の奥様は、大勢の人の前に出るなんて、まてや東京に行くなんてこととむねいと対照的な反応。結局コロナで授賞式は両方ともキャンセル。アコンと呼べる同学生年がこんな名誉を受け、56人ものなまが祝福をよめるのは有り難い巡り合わせだ。



ドクターは石の「いんがいの」



稲垣先生に作品贈呈

家具職人として60年の経験を持つ本多繁実さんに作品の収納ケースを作ってもらった。持つべきものはやはり「友」。

1460085



久原 6月20日
野本浩一様

野本浩一様

22.1.14

一年最初のシヨークサロニセ、かくみおの穂いそり
出席のさよせんごしと。かつとスに感ア上、とごう。
正月明けから休やくかんやらやる事が次々に出て来
る。その日の時間調整がさよせんごしと。
ス。次回以降皆様とスイクス角をさやて頂えよう。
当分は今朝早い時刻から雪。さよ(金)迄はとら
かり雪のたかりま。もうウー白い景色と身イケたか
そのごまりとね。

杉浦 祥

新滑稽新聞

滑稽新聞社

〒444-0103
愛知県額田郡幸田町
大字大草字祢宜屋敷63

編集長 杉浦康司
TEL 0564(62)3 1 7 3
E-mail kokkei-s@sk2.aitai.ne.jp